

学校支援ボランティアの活動をご報告します！（3月）

▶ 4年生図工のこぎり（3/4.5.7） 3年生図工かなづち（3/13.14.15）



のこぎり授業では、生木を使うので扱いやすい木もあれば硬くて扱いにくい木もありました。かなづち授業では、釘を真っ直ぐに打ちづらかったり曲がったり。図工ボランティアさんがアドバイスしながら子どもたちの作業のサポートをしました。子どもたちが自分で考えた作品は夢のある素敵なものばかりでした。



▶ 4年生算数そろばん（3/12.13） 3年生算数そろばん（3/14.15）



そろばんの授業のサポートをしました。日常でなかなか見ることがなくなった「そろばん」です。初めての子どもたちも、そろばんの使い方を習い計算してみると「そろばん楽しい〜」と言ってくれます。計算が合っているかボランティアさんに見てもらえると安心しますね。

▶ 学級園の土づくり（3/8）

新校舎完成と同じく、学級園も新しくなりました。来年度から畑に植える作物やお花が育ちやすいよう、肥料を混ぜたりウネを作ったりしました。地域で購入した耕運機も使ってボランティアさん大活躍でした。



▶ 花の苗植え（3/13）



卒業式を前に正門付近の花壇を綺麗にしてお花を植えました。卒業生104名全員そろって卒業証書授与式を終えることができました。ボランティアさんたちと植えたお花も卒業生たちの写真にたくさん写っているでしょうね。



今年度も学校支援にご理解とご協力をいただきありがとうございました。これからも、地域、保護者みんなで、ゆりのき台小学校をゆりのきの子どもたちを見守っていきたいと思います。学校支援ボランティアに関心のある方はコーディネーターまでお声がけください。

今年度も子ども支援のボランティアを後日おたよりで募集します。
「学校支援ボランティア」や「ゆりっこ広場」についての問い合わせは
学校ではなく、ゆりのき子どもネットワークまでお願いします。
メール yurikodomo.net@gmail.com



ゆうゆうクラブ「カレーパーティー」 3月3日(日)

例年最後のゆうゆうクラブは、6年生を送る会です。前半は6年生が全員のカレーとデザートを作り、5年生以下は6年生に贈るプレゼントを、保護者の方と一緒に頑張って作りました。後半はみんなでカレーを食べて、最後に感謝の気持ちを込めた感謝状とプレゼントを渡しました。6年生は、「チャンバラ大会」や「感謝祭のお店」など自分たちで考えて開催する時に子どもスタッフのリーダーとして頑張りました。

1年間ご協力頂いた皆様、ありがとうございました！



放課後子ども教室 ゆりっこ広場 Q&A

Q1. 「ゆりっこ広場」ってなに？

国・県・市が協働で推進している「放課後子ども教室」という事業を三田市から、委託され、地域と保護者で放課後の子供の居場所を作っています。

Q2. どこが運営しているの？

「ゆりのき子どもネットワーク」(ぶちっとボラ、ビーミーすまいる、民生児童委員、PTA、学校、学校支援コーディネーターで構成)が運営しています。

Q3. いつ・どこで・なにをやっているの？

★水・金曜日 ゆりっこ広場 ★第2・4月曜日 ゆりっこメロディ ★第3月曜日 ゆりっこスポーツ

時間:15:00~16:30 場所:ゆりのき交流室・図書室・校庭・体育館

開催日は変更になる場合があります。「CS だより」でご確認ください。

問い合わせは、ネットワークのメール(yurikodomo.net@gmail.com)まで。小学校への問い合わせはご遠慮下さい。



Q4. どうやったら参加できるの？

必ずご家庭で「今日はゆりっこに行く」ことを確認してください。ゆりっこ広場にきたら、受付名簿に名前・来た時間を書いてください。時間中であればいつ来ていつ帰っても構いません。帰るときは、名簿に時間を書きます。

金曜の忘れ物は、下駄箱の上に置きます。

※1年生は2学期からです。先生の指示に従ってください。

Q5. スタッフについて

毎回地域の方と保護者(3名ほど)が子どもたちの見守りをボランティアでしています。

ゆりっこ広場は「居場所」を提供しています。**スタッフは、おもちゃやボールなど準備し子どもたちをサポートしますが「お子さんを預かり、面倒を見る人」ではありません。参加者は自分の責任で自由に遊びます。**スタッフもなるべく全体の様子を見るように努めますが、少人数のためすべて把握することはできません。子どもたちは遊びの中でケンカもし、コミュニケーションをとり、小さなけがを経験しながら大きなけがをしない知恵を身につけていきます。スタッフはそれを大事に考え、見守りをしています。※小さなけがは救急箱で対応します。

6. 帰りが心配です

スタッフは、なるべく同じ方向の人と帰るように声掛けをしますが、全体を把握することはできません。お子さんが誰と帰る予定なのかご家庭で確認してください。お時間の都合が良ければ、防犯の意味でもお迎えに来ていただくと安心です。

